

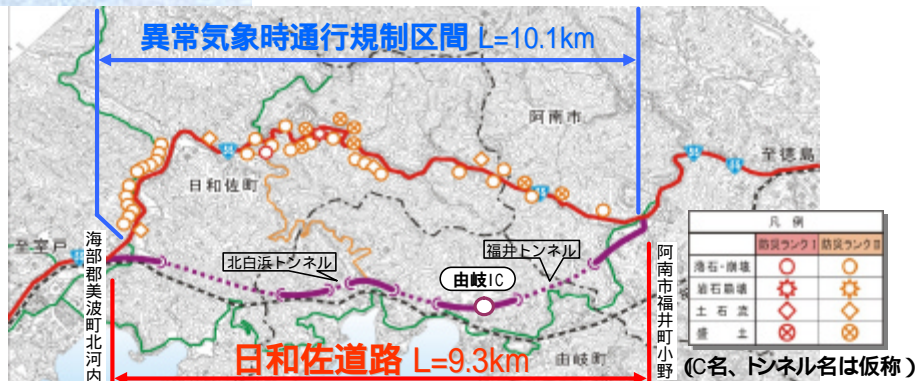
一般国道55号 日和佐道路

目的) 事前通行規制による孤立を解消し、通過時間約10分短縮

H18) 早期の全線供用を目指し、用地買収・トンネル工事等を推進

事業概要

事前通行規制区間を含む阿南市福井町小野から海部郡美波町北河内までの延長9.3kmの自動車専用道路バイパスを整備することで、事前通行規制及び線形不良が解消される。



過去10年間における一般国道55号現道部の通行規制状況

回数	規制開始日時～規制解除日時	規制時間	備考
1	H10 5月16日 23:40 ~ 5月17日 6:30	6時間50分	
2	H12 9月11日 21:45 ~ 9月13日 6:20	32時間35分	
3	H13 8月21日 17:50 ~ 8月22日 6:15	12時間25分	
4	H13 9月 7日 11:50 ~ 9月 7日 17:00	5時間10分	
5	H15 7月19日 5:00 ~ 7月19日 16:00	11時間00分	
6	H16 8月 2日 23:40 ~ 8月 3日 5:40	10時間10分	台風10号
合計 :		78時間10分	
1回当たり平均 :		13時間 2分	

今年度の取組み

小野～由岐IC間では、橋梁工事、福井トンネル(L=1,279m)の工事を推進
 由岐IC～北河内間では、北白浜トンネル(L=492m)、橋梁、舗装、安全施設の工事を推進

事業成果

その1

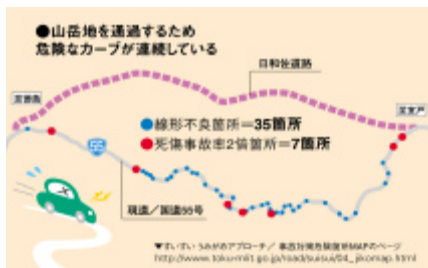
事前通行規制区間の解消による
 徳島県南の孤立人口約22,000人を解消
 (旧日和佐町、牟岐町、海陽町合計)



孤立人口解消地域

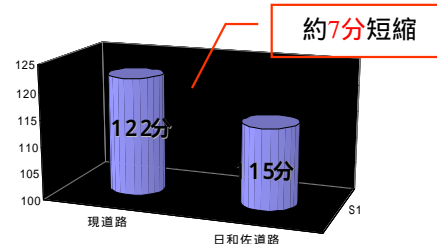
その2

道路線形が向上することによる
 交通事故の減少



その3

自動車専用道路としての定時走行が可能となり、
 移動時間が約7分短縮



自動車専用道路として定時走行が可能となり
 移動時間が約7分短縮される。

福井トンネル（仮称）の工事概要

○工事名：平成15－18年度
福井トンネル工事

○工事延長：1,279m
・工法 NATM工法
(上半先進ベンチカット掘削)

○幅員：9.5m
(1.0+3.5+0.5+3.5+1.0)

○工事場所：徳島県阿南市福井町貝谷～
徳島県海部郡美波町田井

○工事期間：平成16年2月20日～平成19年2月28日

○発注者：国土交通省 四国地方整備局

○受注者：大林・不動特定建設工事共同体

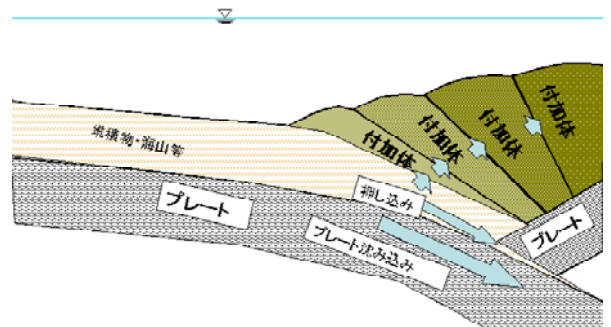
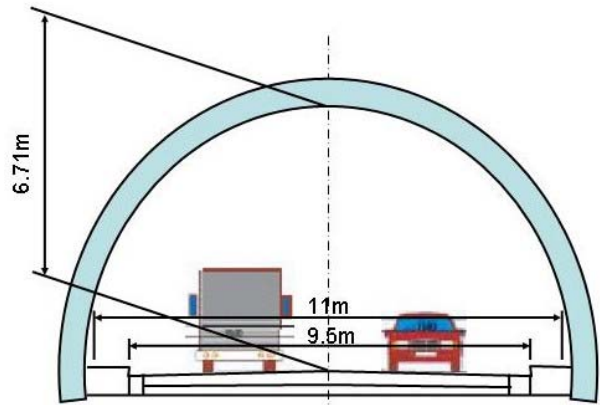
○工事の特徴

福井トンネルは、日和佐道路のトンネルの内、最も徳島市側に位置し、徳島県の阿南市福井町貝谷から海部郡美波町田井を繋ぐトンネルです。

地域住民の振動・騒音対策、工事着手時の工事状況により、本トンネルと最も近接している県道（日和佐小野線）より作業坑を掘削し、本体の掘削を行いました。

トンネルの地質は、四万十帯に属する砂岩・泥岩互層が主体で、これは海洋プレートが大陸プレートに沈み込む際に形成される「付加体」と呼ばれる非常に複雑な地質構造で、脆弱な地質となっています。このような脆弱な地質が出現した箇所や、両坑口部、また、沢部で土被りが15m程度と少ない部分については、補助工法（フォアポーリング工法等）によって地山を安定させ、安全に掘削を完了することができています。

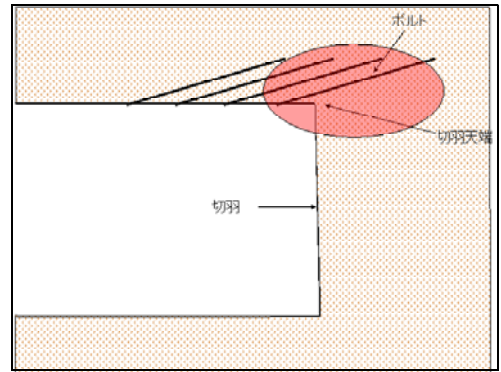
<付加体> 海洋プレートが海溝に沈み込む際に、プレートの上にある堆積物や海山はプレートと共に一部は沈み込みますが、すべてが沈み込むことはできず、海溝の陸側斜面に押しつけられます。その結果、多くの逆断層をもって積み重なったプリズム状の地層が形成されます。次々と新しいものが付加していきますので、そこでは古い堆積物ほど陸側に分布しています。北海道の日高累層群・空知層群をはじめ、日本各地で付加体と考えられる地層が発見され、特に四国を中心に分布する「四万十層群」は世界的にも有名です。



イメージ図

<フォアローリング工法>トンネル掘削において、切羽天端の崩落防止や緩みの拡大防止を主たる目的として、ボルトにより先受けを行う工法です。天端の崩落および肌落ちが発生した場合、支保の施工が実施できないだけでなく、経済性が低下するとともに緩み範囲が拡大します。品質の面から、崩落や肌落ち等は極力少なくすることが望まれます。

フォアローリングは天端・切羽の安定を得る工法のうち、その経済性から最も一般的な工法です。



○一般国道55号 福井トンネル（仮称） 貫通式会場

福井トンネル現場位置図
広域地図



詳細地図



所要時間(車)

